



## 魅力ある馬頭高校を目指して

本校は、平成30年度から小規模特例校になりました。小規模特例校とは、県の基準である1学年4学級を下回る学級数の学校を指します。本校は定員割れの状況が長く続いているため、その状況を改善する手段として特別に1学年3学級にすることが認められたわけです。しかし当時は、小規模特例校の指定が廃校につながるのではないかという話が広まり、平成30年度の入学生は大きく数を減らしました。確かに小規模特例校になっても生徒が集まらなければ、統廃合の対象になります。ただしその場合は、地元と協議しながら段階的に進めることになっていきますので、すぐにというわけではありません。小規模特例校の指定イコール廃校ではないのです。

だからといって、安閑とはしてられません。本校は、地元南那須地区(那珂川町と那須烏山市)からの入学生が全入学生の2/3を占め、地元生の割合が高い学校です。南那須地区は少子化が進んでいて、令和13年度の中学校卒業生数は現在の2/3くらいまで減ると予想されています。地元の生徒が減れば、当然、本校に入学してくる生徒も減ってしまいます。そこで、より多くの中学生に本校を選んでもらえるような魅力が必要になります。すでに那珂川町は、町外からの通学生に交通費などを補助する制度を設けています。また、校外での行事に町のバスを提供したり、生徒の就業体験を町内の企業が引き受けたりといった様々な支援をしてくれています。学校としても、中学生が本校で学びたいと思えるような魅力あるプログラムを実施することが求められています。

次回からは、普通科、水産科それぞれの学科が取り組んでいる魅力あるプログラムについて紹介していきます。



### フォトギャラリー【本校の遠景】

那珂川の支流武茂川(むもがわ)の左岸にある古館が丘(こだてがおか)と呼ばれる台地の先端上にあります。校舎の4階からは、遠く高原山や那須の山並みを望むことができます。